

報 告

神奈川県におけるモモジロコウモリ *Myotis macrodactylus* の繁殖初記録

山口喜盛・山口尚子

Yoshimori Yamaguchi and Naoko Yamaguchi: The first record of Japanese large-footed bat *Myotis macrodactylus* breeding in Kanagawa Prefecture, Japan

緒言

モモジロコウモリ *Myotis macrodactylus* はシベリア東部、朝鮮半島、日本に分布し、日本では北海道から徳之島にかけて広く生息している（佐野, 2023）。神奈川県においては、これまで丹沢山地や箱根山地、三浦半島などで生息が確認されているが（柴田・寺島, 1958；石原, 1997；山口ほか, 2002；山口, 2006；山口・山口, 2007）、繁殖に関する情報は無い。

筆者らは清川村宮ヶ瀬の隧道内において、神奈川県で初めてモモジロコウモリの出産哺育コロニーを確認したので、ここに報告する。

材料と方法

宮ヶ瀬は神奈川県の北西部にある丹沢山地の東部に位置している。調査を行った隧道はダム建設によって作られた宮ヶ瀬湖畔にあり、長さは653 m、高さは4.5 m、幅（底部）は5.5 mで、内壁はコンクリートでできている（図1）。隧道は通り抜けできず、片方の出入口の先には道はなく行き止まりになっている。この隧道のある林道は施錠された鉄格子のゲートによって一般の車や人が入ることはできない。

筆者らは2023年6月10日に林道管理者の許可を得てこの林道を通行し、隧道内の天井部分にいるコウモリ類の集団をデジタルカメラ（Nikon D800、レンズ400 mm、ストロボ使用）で撮影した。撮影は出巢前の17:10から17:13の間と出巢後の19:31から19:33の間に行った。コウモリに与える影響を最小限に抑えるために、弱光の懐中電灯で一瞬照射し、撮影は短時間で行った。そして、写真データをパソコン上で拡大し、種の同定と個体数、繁殖状況の確認を行った。なお、出巢前に撮影したのは集団の種構成及び個体数を把握するためで、出巢後に撮影したのは残された幼獣を確認するためである。

結果と考察

撮影データを確認したところ、ユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus* と混群を形成するモモジロコウモリが確認された。出巢前の個体を数えたところモモジロコウモリは71頭、ユビナガコウモリは265頭であったが（図2）、密集して重なっていたり、別の個体の上に覆い被さっていたりしたため、個体数はもう少し多いものと思われた。また、出巢後にまだ飛ぶことのできない幼獣17頭を確認した（図3）。これらはモモジロコウモリの特徴である細長い耳介と大きな後足（佐野, 2011）を持ち、1頭の成獣が近くに残っていたことから、本種の幼獣と判断した。

このようなことから、この隧道はモモジロコウモリの集団が繁殖し、哺育を行った出産哺育コロニーと考えられる。

2009年10月9日に101頭の群塊と他に散在する7頭（山口・山口, 2010）、2022年6月23日に113頭を確認して



図1. モモジロコウモリの出産哺育コロニーが見つかった隧道の内部。



図 2. モモジロコウモリとユビナガコウモリの混群.



図 3. モモジロコウモリの幼獣 17 頭.

いることから（山口未発表）、この隧道はモモジロコウモリの集団が長期にわたって利用しているものと思われる。混群の撮影された部分のコンクリートは表面が腐食していた。

林道は頑丈なゲートによって一般の車や人の侵入はできないが、許可を得た関係者が隧道内に入ることによって繁殖活動を妨げる可能性がある。そのため、繁殖期は隧道内に入ることを禁止するなど、保全対策を検討する必要がある。

謝辞

林道の通行を許可していただいた相模川水系広域ダム管理事務所に感謝します。

引用文献

石原龍雄, 1997. コウモリ. 箱根・丹沢陸水研究会編, 箱根・丹沢フィールドノート, pp. 92–93. 文化堂印刷, 小田原.

佐野 明, 2011. モモジロコウモリ. コウモリの会編, コウモリ識別ハンドブック改訂版, pp. 48–49. 文一総合出版, 東京.
佐野 明, 2023. モモジロコウモリ. コウモリの会編, 識別図鑑日本のコウモリ, pp. 156–159. 文一総合出版, 東京.
柴田敏隆・寺島浩一, 1958. 三浦半島の翼手類について. 横須賀市博物館研究報告 (自然科学), (3): 44–52.
山口喜盛, 2006. 丹沢山地玄倉川流域におけるコウモリ類の隧道利用の季節変動. 神奈川自然誌資料, (27): 45–49.
山口喜盛・曾根正人・永田幸志・滝井暁子, 2002. 丹沢山地におけるコウモリ類の生息状況. 神奈川自然誌資料, (23): 19–24.
山口喜盛・山口尚子, 2007. 小田原市のため池で確認されたコウモリ類について. 神奈川自然誌資料, (28): 49–50.
山口喜盛・山口尚子, 2010. 丹沢山地のトンネルで確認されたコウモリ類. 神奈川自然誌資料, (31): 81–84.

山口喜盛: 神奈川県立生命の星・地球博物館外来研究員;

山口尚子: 南足柄市

(受領 2023 年 10 月 31 日; 受理 2024 年 2 月 15 日)